



Press RELEASE **ご取材案内**

配布先：文部科学記者会、科学記者会、

報道各社：科学部・社会部 ご担当者 各位

2019年11月29日

学校法人早稲田大学

**JXTGエネルギーとの「持続可能な未来社会実現」に向けたイノベーション推進のための
包括連携活動に関する協定書の締結および共同連携拠点「ENEOSラボ」の設置について**

学校法人早稲田大学（所在地：東京都新宿区 総長：田中 愛治 以下、「早大」）は、JXTG エネルギー株式会社（所在地：東京都千代田区 社長：大田 勝幸 以下、「JXTG」）と、2019年11月29日に「持続可能な未来社会実現」に向けたイノベーション推進のための包括連携活動に関する協定を締結し、連携活動をさらに強化することで合意しましたので、お知らせいたします。

これまで早大と JXTG は開発テーマに応じ、個別に連携を深めてまいりましたが、低炭素化をはじめとする様々な社会課題に対応していくためには、包括的、分野横断的なオープンイノベーションを推進することが求められています。本協定は、そのような情勢に鑑み、早大全体や早大をハブとして他大学・他企業まで連携を拡大することで、持続可能な未来社会実現に向けたイノベーションを分野横断的に推進することを目的としています。

連携強化に向けた具体的な取り組みとして、早大が推進する「早稲田オープン・イノベーション・パレー構想¹⁾」の中心となる、現在建設中の新研究棟 121 号館 リサーチイノベーションセンター内に「ENEOS ラボ」を設置し、分野横断的な連携活動拠点として 2020 年 4 月から活用を開始する予定です。また、早大と JXTG のメンバーから構成されるガバナンス委員会を新たに設置し、革新的シーズの探索活動や ENEOS ラボ、オープンイノベーション戦略研究機構²⁾ 等での共同研究の加速、卓越大学院³⁾ での人材育成活動等、様々な連携活動を統括することで、ビジョン実現に向けた戦略的・機動的な企画・運営を推進してまいります。

「ENEOSラボ」概要

所在地：早大早稲田キャンパス内 新研究棟 121 号館 リサーチイノベーションセンター 3 階
面積：約 210 m²

- 1) 早稲田オープン・イノベーション・パレー構想：早大が早稲田キャンパス地区周辺の研究施設等を連動させ、新産業を創出する構想。
- 2) オープンイノベーション戦略研究機構：早大が文部科学省「オープンイノベーション機構の整備事業」に申請を行い、2018年9月12日に採択されたもの。<https://www.waseda.jp/inst/oi/>
- 3) 卓越大学院：早大が文部科学省の「卓越大学院プログラム」に2018年10月に採択され開始した「パワー・エネルギー・プロフェSSIONナル (PEP) 育成プログラム」。<https://www.waseda.jp/pep/>

【本件に関するお問合せ先】

◆学校法人早稲田大学 リサーチイノベーションセンター TEL：03-5286-1975